2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ		上場取引所		東
コ ー ド 番 号	6324		URL	https://www.hds.co.jp/	
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	丸山　顕		
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員	（氏名）	塩川　哲也	(TEL) 03-5471-7810	
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日		2026年12月４日	

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（　アナリスト向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	36,124	29.8	4,205	803.5	4,084	712.5	2,986	841.8
2026年３月期中間期	27,838	4.8	465	－	502	－	317	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　3,926百万円（　－　%）　2026年３月期中間期　△438百万円（　－　%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	31.54	－
2026年３月期中間期	3.35	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	114,060	83,445	73.2
2026年３月期	111,400	80,390	72.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　83,445百万円　　2026年３月期　80,390百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	10.00	－	10.00	20.00
2027年３月期	－	12.00			
2027年３月期(予想)			－	16.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	31.0	10,200	297.3	10,000	293.8	7,200	347.5	76.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	96,315,400株	2026年３月期	96,315,400株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,638,685株	2026年３月期	1,648,611株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	94,670,097株	2026年３月期中間期	94,690,405株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料４ページ「１．当第２四半期(中間期)決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、2026年11月19日に当社WEBサイト https://www.hds.co.jp に掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当第２四半期(中間期)決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 12
（重要な後発事象） …… 13
３．その他 …… 14
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 14
（２）海外売上高 …… 16

１．当第２四半期(中間期)決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月１日から2026年９月30日まで）における世界経済は、中東情勢の長期化を背景としたエネルギー価格の高騰やインフレ圧力など下振れリスクを抱えながらも、AI関連投資の拡大などに支えられ、底堅く推移しました。こうした外部環境のもと、当社グループの事業環境においては、世界的な自動化投資が底堅く推移したことに加え、AI関連を中心とした先端半導体分野における設備投資需要の拡大を背景に、半導体製造装置向けの受注高が増加したことにより、連結受注高は前年同期比70.7％増加の503億86百万円となりました。

用途別の売上高の動向につきましては、産業用ロボット向けは、中国向けが減少したものの、国内及び欧州向けの増加がこれを上回り、全体として増加しました。半導体製造装置向けは、AI関連投資の拡大を背景に、データセンター向け及び先端半導体分野における設備投資需要が引き続き堅調に推移したことから、売上高は増加しました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は、前年同期比29.8％増加の361億24百万円となりました。

損益面につきましては、販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加に伴う増益効果の影響により、営業利益は前年同期比803.5％増加の42億5百万円となりました。また、主に営業利益の増益に伴い、親会社株主に帰属する中間純利益も前年同期比841.8％増加の29億86百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比26.2％増加の276億36百万円、メカトロニクス製品が同43.0％増加の84億87百万円で、売上高比率はそれぞれ、76.5％、23.5％となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

（日本）

産業用ロボット向け及び半導体製造装置向けの受注高が増加し、売上高は前年同期比39.1％増加の172億6百万円となりました。また、セグメント利益（営業利益）は、工場稼働率の上昇により製造原価率が改善し、前年同期比229.4％増加の47億21百万円となりました。

（中国）

半導体製造装置向けの受注高は増加したものの、産業用ロボット向けの受注高が減少し、売上高は前年同期比1.4％減少の22億45百万円となりました。また、セグメント利益（営業利益）は、減収の影響に加え、販売費及び一般管理費の増加により、前年同期比25.0％減少の2億20百万円となりました。

（北米）

手術支援ロボット向け及び半導体製造装置向けの受注高が増加し、売上高は前年同期比29.9％増加の71億39百万円となりました。また、セグメント利益（営業利益）は、増収の影響に加え、前年同期に計上していた基幹システム更新に伴う一過性の費用が減少したことにより、5億3百万円のセグメント利益（前年同期はセグメント損失32百万円）となりました。

（欧州）

産業用ロボット向け及び航空・宇宙・防衛向けの受注高が増加し、売上高は前年同期比23.9％増加の95億34百万円となりました。また、セグメント利益（営業利益）は、ハーモニック・ドライブ・エスイー株式取得時に計上した無形資産に係る償却費5億31百万円の負担はあるものの、増収の影響により、前年同期比399.7％増加の1億74百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて26億59百万円増加（前連結会計年度末比2.4%増）し、1,140億60百万円となりました。これは、固定資産が9億72百万円減少（前連結会計年度末比1.6%減）した一方で、売上高の増加に伴い受取手形が12億32百万円増加（前連結会計年度末比32.9%増）、売掛金が6億31百万円増加（前連結会計年度末比5.5%増）したこと、受注の増加により仕掛品が8億20百万円増加（前連結会計年度末比19.1%増）したことが主な要因です。

（負債）

負債は、前連結会計年度末に比べて3億95百万円減少（前連結会計年度末比1.3%減）し、306億14百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が12億36百万円増加（前連結会計年度末比51.7%増）し、未払法人税等が11億62百万円増加（前連結会計年度末比328.2%増）した一方で、借入金の返済を進めたことにより、短期借入金が14億99百万円減少（前連結会計年度末比68.0%減）したこと、長期借入金が9億45百万円減少（前連結会計年度末比10.4%減）したことが主な要因です。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて30億55百万円増加（前連結会計年度末比3.8%増）し、834億45百万円となりました。これは、利益剰余金が20億39百万円増加（前連結会計年度末比5.3%増）し、為替換算調整勘定が7億16百万円増加（前連結会計年度末比4.0%増）したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の72.2%から73.2%になりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて12億66百万円増加し、203億57百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による収入は58億75百万円となりました。（前年同期は38億80百万円の収入）これは、税金等調整前中間純利益を40億69百万円、減価償却費を35億23百万円計上した一方で、売上債権が17億11百万円、棚卸資産が16億11百万円増加したことが主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による支出は11億90百万円となりました。（前年同期は28億97百万円の支出）これは、有形固定資産の取得による支出が20億51百万円あった一方で、定期預金の払戻による収入が15億27百万円あったことが主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による支出は37億65百万円となりました。（前年同期は50億74百万円の支出）これは、短期借入金の返済による支出が37億61百万円、配当金の支払が9億47百万円、長期借入金の返済による支出が9億45百万円あった一方で、短期借入れによる収入が23億20百万円あったことが主な要因です。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月７日に公表しました2027年３月期通期の業績予想を修正しております。当該内容につきましては、本日（2026年11月11日）公表の「通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,564	21,855
受取手形	3,744	4,976
売掛金	11,566	12,198
有価証券	117	105
商品及び製品	1,901	2,261
仕掛品	4,300	5,121
原材料及び貯蔵品	6,203	6,794
その他	1,672	1,386
貸倒引当金	△23	△18
流動資産合計	51,048	54,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,166	16,874
機械装置及び運搬具（純額）	12,713	11,985
工具、器具及び備品（純額）	1,375	1,469
その他（純額）	13,999	14,232
有形固定資産合計	45,256	44,561
無形固定資産		
ソフトウエア	704	915
顧客関係資産	9,187	8,527
技術資産	2,453	2,277
その他	260	47
無形固定資産合計	12,605	11,767
投資その他の資産		
投資有価証券	390	848
関係会社株式	0	28
関係会社出資金	73	73
関係会社長期貸付金	304	300
退職給付に係る資産	1,488	1,516
繰延税金資産	97	147
その他	141	141
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,490	3,050
固定資産合計	60,352	59,379
資産合計	111,400	114,060

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,393	3,630
短期借入金	2,204	704
1年内返済予定の長期借入金	1,890	1,890
リース債務	834	851
未払法人税等	354	1,517
賞与引当金	1,173	1,143
役員賞与引当金	84	128
製品補償損失引当金	176	128
その他	3,161	3,556
流動負債合計	12,273	13,551
固定負債		
長期借入金	9,125	8,179
リース債務	4,011	3,684
繰延税金負債	3,969	3,703
役員退職慰労引当金	30	3
その他の引当金	159	140
退職給付に係る負債	986	944
その他	453	405
固定負債合計	18,735	17,062
負債合計	31,009	30,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,100	7,100
資本剰余金	22,753	22,789
利益剰余金	38,765	40,805
自己株式	△6,334	△6,296
株主資本合計	62,284	64,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	259
為替換算調整勘定	18,065	18,781
退職給付に係る調整累計額	17	6
その他の包括利益累計額合計	18,106	19,047
純資産合計	80,390	83,445
負債純資産合計	111,400	114,060

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	27,838	36,124
売上原価	19,873	23,347
売上総利益	7,965	12,777
販売費及び一般管理費	7,499	8,572
営業利益	465	4,205
営業外収益		
受取利息	105	106
受取配当金	3	11
為替差益	9	－
その他	130	158
営業外収益合計	249	276
営業外費用		
支払利息	127	151
持分法による投資損失	14	9
為替差損	－	181
その他	69	55
営業外費用合計	211	397
経常利益	502	4,084
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	85	－
特別利益合計	87	3
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	6	18
特別損失合計	6	18
税金等調整前中間純利益	583	4,069
法人税、住民税及び事業税	319	1,410
法人税等調整額	△52	△327
法人税等合計	266	1,082
中間純利益	317	2,986
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	317	2,986

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	317	2,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	235
為替換算調整勘定	△607	716
退職給付に係る調整額	△27	△11
その他の包括利益合計	△755	940
中間包括利益	△438	3,926
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△438	3,926
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	583	4,069
減価償却費	3,547	3,523
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	△5
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△49	△74
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4	△26
執行役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13	△18
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△9	43
製品補償損失引当金の増減額（△は減少）	120	△49
受取利息	△105	△106
受取配当金	△3	△11
支払利息	127	151
持分法による投資損益（△は益）	14	9
投資有価証券売却損益（△は益）	△85	－
固定資産売却損益（△は益）	△1	△3
固定資産除却損	6	18
売上債権の増減額（△は増加）	363	△1,711
棚卸資産の増減額（△は増加）	6	△1,611
仕入債務の増減額（△は減少）	△92	1,141
その他	604	298
小計	5,046	5,634
利息及び配当金の受取額	133	120
利息の支払額	△124	△152
法人税等の支払額	△1,337	△170
法人税等の還付額	162	442
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,880	5,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,779	△2,051
有形固定資産の売却による収入	2	5
無形固定資産の取得による支出	△73	△59
投資有価証券の取得による支出	△4	△114
投資有価証券の売却による収入	327	－
定期預金の預入による支出	△446	△500
定期預金の払戻による収入	1,075	1,527
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△4
敷金及び保証金の回収による収入	2	6
長期貸付けによる支出	△0	－
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,897	△1,190

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,320	2,320
短期借入金の返済による支出	△3,320	△3,761
長期借入金の返済による支出	△945	△945
リース債務の返済による支出	△370	△431
自己株式の取得による支出	△809	△0
配当金の支払額	△948	△947
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,074	△3,765
現金及び現金同等物に係る換算差額	△252	346
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,343	1,266
現金及び現金同等物の期首残高	22,923	19,091
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,579	20,357

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	中間連結損益計算書計上額
	日本	中国	北米	欧州	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,909	2,279	5,509	7,733	31,431	△3,593	27,838
外部顧客への売上高	12,369	2,276	5,496	7,695	27,838	―	27,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,540	2	12	37	3,593	△3,593	―
計	15,909	2,279	5,509	7,733	31,431	△3,593	27,838
セグメント利益又は損失(△)	1,433	294	△32	35	1,729	△1,264	465

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,264百万円は、セグメント間取引消去△28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,236百万円で構成され、全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

２．日本には、日本国内向けのほか、中国を除くアジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。

３．北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高4,839百万円が含まれております。

４．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	中間連結損益計算書計上額
	日本	中国	北米	欧州	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	22,219	2,252	7,161	9,651	41,285	△5,161	36,124
外部顧客への売上高	17,206	2,245	7,139	9,534	36,124	―	36,124
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,013	7	22	117	5,161	△5,161	―
計	22,219	2,252	7,161	9,651	41,285	△5,161	36,124
セグメント利益	4,721	220	503	174	5,620	△1,415	4,205

（注）１．セグメント利益の調整額 △1,415百万円は、セグメント間取引消去△201百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,214百万円で構成され、全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
２．日本には、日本国内向けのほか、中国を除くアジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
３．北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高6,401百万円が含まれております。
４．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する情報

第１四半期連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント利益又は損失(△)も営業利益又は損失(△)に変更したうえで比較しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

３．その他

（１）生産、受注及び販売の状況

①　生産実績

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（百万円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	19,455	28.0
	メカトロニクス製品	3,480	50.4
中国	減速装置	―	―
	メカトロニクス製品	―	―
北米	減速装置	2,779	20.9
	メカトロニクス製品	2,360	29.4
欧州	減速装置	5,848	24.8
	メカトロニクス製品	2,930	50.2
合　計		36,854	30.4

（注）１．セグメント間取引については、相殺消去しております。
２．上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
３．当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、中国、北米、欧州）に区分しております。
４．当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一でありますが、報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
５．磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ハーモニックウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（百万円）	前年同期比（%）	受注残高（百万円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	18,974	63.6	9,126	100.7
	メカトロニクス製品	2,788	102.1	1,841	110.9
中国	減速装置	2,072	1.6	1,004	30.8
	メカトロニクス製品	298	△6.2	131	△32.5
北米	減速装置	5,126	52.8	5,445	48.6
	メカトロニクス製品	7,943	262.6	7,205	303.4
欧州	減速装置	9,403	58.7	8,758	46.0
	メカトロニクス製品	3,778	39.5	2,954	9.5
合　計		50,386	70.7	36,468	77.6

（注）１．セグメント間取引については、相殺消去しております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
３．当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、中国、北米、欧州）に区分しております。
４．当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一でありますが、報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
５．磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ハーモニックウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。
６．受注残高は、当中間連結会計期間において発生した93百万円の受注取り消し額等を差し引いております。

③　販売実績

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（百万円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	15,354	38.8
	メカトロニクス製品	1,851	41.4
中国	減速装置	1,796	△14.9
	メカトロニクス製品	448	170.2
北米	減速装置	4,086	26.5
	メカトロニクス製品	3,052	34.7
欧州	減速装置	6,399	16.3
	メカトロニクス製品	3,135	43.1
合　計		36,124	29.8

（注）１．セグメント間取引については、相殺消去しております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
３．当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、中国、北米、欧州）に区分しております。
４．当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一でありますが、報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
５．磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ハーモニックウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

（２）海外売上高

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	中国	北米	欧州	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高(百万円)	2,245	7,139	9,534	1,716	20,635
Ⅱ　連結売上高(百万円)	―	―	―	―	36,124
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	6.2	19.8	26.4	4.8	57.1

（注）１．国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
２．各区分に属する主な国又は地域
(1) 中国……中国
(2) 北米……米国
(3) 欧州……ドイツ
(4) その他の地域……韓国、台湾、オセアニア
３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。